

製品名: カード 10 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07923**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	120kDa

抗原情報

遺伝子名	CARD10
別名	CARD10; CARMA3; Caspase recruitment domain-containing protein 10; CARD-containing MAGUK protein 3; Carma 3
遺伝子 ID	29775.0
SwissProt ID	Q9BWT7
免疫原	抗血清はヒト CARD10 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 481-530

背景

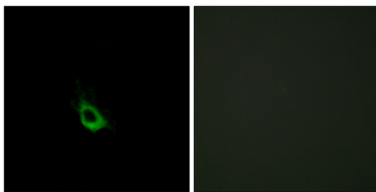
カスパーゼリクルートドメイン (CARD) は、6 個または 7 個の逆平行 α ヘリックスからなるタンパク質モジュールです。CARD は、

非常に特異的なタンパク質間ホモフィリック相互作用を介してアポトーシスシグナル伝達に関与します。他のいくつかのCARDタンパク質と同様に、CARD10は膜結合型グアニル酸キナーゼ (MAGUK) ファミリーに属し、BCL10 (MIM 603517) を介してNF- κ B (NFKB; MIM 164011 参照) を活性化します (Wang et al., 2001 [PubMed 11259443])。[OMIM 提供、2008年3月]、注意: SH3、PDZ、およびグアニル酸キナーゼ様ドメインを含むと推定されています。しかし、これら3つのドメインはいずれもPROSITE、Pfam、SMARTでは検出されません。機能: BCL10およびIKKを介してNF- κ Bを活性化します。類似性: 1つのCARDドメインを含みます。サブユニット: CARD10とBCL10はCARD-CARD相互作用によって互いに結合します。両者ともMALT1と複合体を形成し、MALT1はBCL10に結合します。組織特異性: 成人の心臓、腎臓、肝臓で検出され、腸管、胎盤、筋肉、肺でも低濃度で検出されます。胎児の肺、肝臓、腎臓にも存在します。、

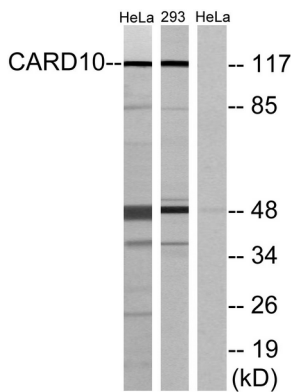
研究分野

-

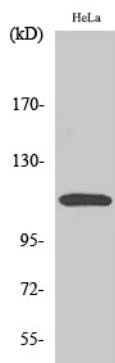
画像データ



CARD10抗体を用いたHeLa細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



CARD10抗体を用いたHeLa細胞および293細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



CARD 10 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析